

授業科目		科目概要・形式	配当年次	オンライン参加
がん看護学実習Ⅴ		2単位 90 時間 実習科目	博士前期 2 年次 後期開講	可・ ☐ 不可 「下記 6, 7 参照」
科目責任者	鳴井ひろみ			
担 当 者	鳴井ひろみ、本間ともみ、横田真理子（非常勤）、竹内可愛（非常勤）、菅野綾子（非常勤）			
1. 科目のねらい・目標				
複雑で対応困難な問題をもつがん患者・家族を受け持ち、ケアとキュアの統合による高度な看護学の知識や理論をもとに包括的、個別的な視点からアセスメントし、エビデンスに基づいた高度な質の高い看護ケアを提供する。さらに看護スタッフへの教育、相談、多職種との連携・調整、倫理的調整、臨床看護研究の指導を行い、がん看護専門看護師としての能力を修得する。				
2. 授業計画・内容				
＜実習内容＞				
1) 複雑で対応困難な問題をもつがん患者・家族を受け持ち、これまでの学びをもとにケアとキュアを統合した専門的知識・技術を用いて、個別的なケア計画を立案し、エビデンスに基づく高度な直接ケアを実践する。				
2) がん患者・家族の倫理的葛藤場面において、倫理的調整を実施する。				
3) 対応困難な患者・家族に関わる看護スタッフへのコンサルテーションを実施する。				
4) チーム医療の一員として、多職種と連携・協働した看護実践を行い、患者・家族・スタッフ間の調整を行う。				
5) がん患者・家族への看護の質の向上を図るための院内教育や臨床看護師への教育活動を実施する。				
6) 実践の場における看護研究の指導を行う。				
7) 1) ～6) を通して、がん看護専門看護師としての役割を開発する。				
8) がん看護専門看護師の役割についての実践を通して、がん看護専門看護師の役割機能についてレポートにまとめる。				
＜実習場所＞				
岩手医科大学附属病院				
＜実習指導体制＞				
1) 教員は実習指導者（がん看護専門看護師）と連携して、実習記録およびケースカンファレンス内容について指導する。				
2) 教員は、施設の実習調整担当者、実習病棟看護責任者、実習指導者（がん看護専門看護師）と連携し、学生の教育環境を調整する。				
3) 実習指導者（がん看護専門看護師）は、がん看護専門看護師の役割（実践・相談・調整・倫理的調整・教育・研究）を視野に入れながら、複雑で対応困難な問題をもつがん患者・家族に対する高度な看護実践を行う上での介入計画の立案・実施・評価について、指導および助言を行う。				
4) 教員および実習指導者（がん看護専門看護師）は、多職種と連携し、受け持ち患者の事例分析およびケースカンファレンス、がん看護専門看護師の役割を開発するための介入計画の内容をスーパーバイズする。				
3. 教科書、参考書				
指定しない。実習状況によって随時、提示する。学内での既習事項を各自で効果的に活用すること。				
4. 成績評価方法				
実践（65%）、実習への取組状況（5%）、がん看護専門看護師の役割（実践・相談・調整・倫理的調整・教育・研究）に関する実践・分析・評価に関するレポート（30%）、を総合して評価する。				
5. 受講要件				
がん看護専門看護師コースの学生は必修				
6. 社会人学生に対する配慮				
相談があれば個別に対応する。				
7. その他				
・既習事項を活用して事前学習を十分に行い、主体的に実習に臨むこと。				
・カンファレンスや個別指導は状況に応じて Webex または Zoom を用いてオンラインで実施する。				
・オンデマンドの実施はしない。				